

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区） 第3回会議
開 催 日 時	令和元年11月6日（水） 午後7時00分 開会・午後9時00分 閉会
開 催 場 所	宮寺公民館 1階 大会議室
議 長 氏 名	近藤勝美会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）委員 岡崎幸子、川島世利雄、後藤賢治、中村隆、中村智洋、濱邊一幸、 古谷圭、水村由高、山口達也、吉川清
欠席委員(者)氏名	野崎皓布、服部龍児、羽石未樹、馬場準、村杉美和
説明者の職氏名	総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士 企画部政策推進室主幹 新屋朋徳 都市整備部都市計画課主幹 小松辰也 都市整備部道路整備課主幹 内沼賢人 環境経済部農業振興課主幹 新宜之
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (1)宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について ・事務局説明 ・質疑応答 (2)第3回会議検討課題：まちづくりに関する事項 ①都市整備、道路、農業振興地域等 ・事務局説明 ・質疑応答 ②狭山台土地区画整理事業地内の土地利用の状況 ・事務局説明 ・質疑応答 (3)次回検討事項説明 4 閉 会

	公 開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	7名
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について ・資料 3-1 第6次 入間市総合計画 前期基本計画（抜粋） ・資料 3-2 入間市都市計画マスタープラン改訂版（抜粋）・改訂版概要 ・資料 3-3 上藤沢・林・宮寺間新設道路計画説明図 ・資料 3-4 三ヶ島工業団地周辺地区における産業団地創出に係る説明会の開催について ・資料 3-5 入間市農業振興地域農用地利用計画図（部分） ・資料 3-6 農業振興地域農用地について ・資料 3-7 狭山台土地区画整理事業地内（住居系）の土地利用の状況
関係部局職員氏名	<p>企画部参事兼企画課政策推進室長 岩田正博 企画部企画課政策推進室主幹 新屋朋徳 環境経済部次長 西澤章 環境経済部農業振興課長 新井勝次 環境経済部農業振興課主幹 新宜之 都市整備部次長 栗原庸之 都市整備部都市計画課長 藤田拓也 都市整備部都市計画課主幹 小松辰也 都市整備部道路整備課長 田中高義 都市整備部道路整備課主幹 内沼賢人 教育部長 新見輝明 教育部参事兼学校教育課長 北野晃</p>
事務局職員職氏名	<p>総務部部長 田雑弘章 総務部次長 徳山寿行 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課長 浅見泰志 総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 平沼宏之 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 増田暁伸 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開 会 (午後 7 : 00)

2 会 長 挨 拶

3 議 事

(1)宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(2)第 3 回会議検討課題：まちづくりに関する事項

①都市整備、道路、農業振興地域等

- ・事務局説明
- ・質疑応答

②狭山台土地区画整理事業地内の土地利用の状況

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(3)次回検討事項説明

4 閉 会 (午後 9 : 00)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1)宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について 意見なし</p> <p>(2)第3回会議検討課題：まちづくりに関する事項 ①都市整備、道路、農業振興地域等</p> <p>各担当から説明があった。協議に入る前に、この会議は宮寺小学校・狭山小学校の統合を検討する会議ではあるが、この地区は狭山台を除いて人口減少が進み、暮らしにくくなってきている。その中で地域の核である学校を移動させるのは、本来ならば、この地域をどのような地域にしたいのかというビジョンを持ってから動くべきであるが、それを後回しにして、先行して学校の統合を進めているというこの状態をこの地域に住んでいる人は将来のこの地区がどうなるのかと不安に感じていると思う。そのことを踏まえて、今後の見通しを含め担当課から説明を受け、疑問に思う事を質問したいということで集まってもらっている。</p>
委員	<p>藤沢から続く道路について、利便性、機能性を考えると開通することで宮寺・二本木地区の人は武蔵藤沢駅までの利便性がかなり良くなる。三ヶ島工業団地に合わせて整備すると聞いているが、完成時期は具体的にいつになるのか。</p>
委員	<p>市街化調整区域を市街化区域にすることは難しいのか。この会議の目的は、少子化の影響で地区に2校ある小学校を統合することであるが、市で人口減少対策として、市街化調整区域を市街化区域にすれば良いのではないか。</p>
関係部局	<p>区画整理事業の所沢市分で行っている事業であり、現在、具体的な事業年度は発表されていないため、詳しい年度は答えられない。最終的に三工区まで完了する時期は、二工区の土地区画整理事業を見据えて三工区の着手を考えていかなければならないと思う。三工区をいつ始めるかを所沢市と協議中のため、この場で答えることができない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関係部局	区域区分で市街化区域と市街化調整区域に分けられる。市街化区域というのは住居系や工業系などが当てはまり、この線引きは埼玉県が行っている。入間市でも市街化調整区域を市街化区域に編入すれば、人口が増え税収も増えると思うが、なかなかクリアできない。その件については市としても努力するが非常にハードルが高い。
委員	ハードルが高いというのは埼玉県が許可しないということか。
関係部局	埼玉県が市街化調整区域を市街化区域に編入するのは、都市基盤整備が具体的な計画としてある場合である。しかし、埼玉県自体が住居系の市街化区域の拡大を抑制する方針を出しているというのが根幹にある。
委員	埼玉県が市街化区域を抑制するというのは、どのような考えに基づいているのか。
関係部局	市街化区域と市街化調整区域の区分に関する見直し要綱というものが埼玉県にある。人口が減少している今の時代に、乱立する市街化区域を抑制する意図があるのではないか。
委員	計画認可が昭和 49 年とあるが、今から約 45 年前である。今後これが改定することはないと思って良いのか。
関係部局	新たに土地区画整理事業を実施してスポット的に市街化区域へ編入するなどの手法を取らなければなかなか線引きされない。しかし、逆に、市街化区域であるが、市街化にはなっていないため市街化調整区域に戻すように県から指摘されるという逆線引きはある。入間市ではまだそのようなことはないが、埼玉県内ではそのような指摘が出ている所もあると聞いている。
委員	第三工区の時期が不明という話を受けたが、都市計画の中で今ある道路を新しくできる道路とつながる様に整備する予定であると思うが、その道路は第三工区の完成時期に合わせて整備する考えはあるのか。

発 言 者	発 言 内 容
関係部局	以前地元の議員から一般質問で同じ様な質問をされた。第三工区の整備時期に合わせて整備をする予定である。今の時点で答えられることはそれだけである。
委員	中間地点に新しい学校を建てると言うが、農業振興地域に学校などの公共施設を建てることができるのか。
関係部局	農業振興地域の農用地であれば 5 要件を満たせば、その用地に公共施設を建設することも、一般の人の要望でも同じ条件で建てられる。
委員	農業振興地域の 5 要件を満たせば病院や学校がどこでも建設できると理解して良いか。
委員	要件が合うところがあるかどうかの話になると思う。
委員	これから小学校を統合して、中間地点に新しい小学校を建てると言うが、小学校を建てられる十分な広さを持った場所は市街化区域の中にはない。市街化区域は土地の値段も高いため、市街化区域の土地を買い、校庭や校舎を建てるのは止めた方が良いのではないか。今、宮寺・二本木地区にある 2 つの小学校の土地はどちらも高く売れるのではないか。一番良い方法は、今ある小学校の土地を高く売り、市街化調整区域の農業振興地域を安く購入し、新しい小学校を建てる事ではないか。市の財政に余裕はないはずである。
委員	収支計画をどのように考えているのか。
事務局	小学校 2 校を廃止して 1 校にし、新しい場所へ統合するために、用地については市街化調整区域の中で要件を満たせる所がないかを含めて検討している。具体的な数字は用意していないが、今まであった学校の跡地活用を含めて収支を検討したい。ただ、跡地は自由に活用できるとは限らないため、数ある条件の中で活用の方法を見ながら検討する。
委員	一番の問題点は通学路の設定の中で国道 16 号を横断することではない

発 言 者	発 言 内 容
	<p>か。国道 16 号の北側に学校を建てれば、宮寺地区の住民は反対し、南側に学校を建てれば狭山小学校の学区の保護者が反対する。国道の上に道を通すのはどうか。歩道橋という案もあるようだが、歩道橋は雪や雨が降ると滑り、渡ることが大変である。親としては、どのようにして子どもに国道 16 号を安全に渡らせるのかが大事であろう。これをこの検討会議の委員だけが話すのではなく各小学校の PTA でどのように考えているのか、保護者の意見を今度出してもらった方が良いのではないか。この会議が終わった時に、どのような話がでたのかが分かる様に用紙にまとめて配布したり、回覧板を活用したりして、会議に参加していない人に、この会議は月に 1 回開催していて、令和 3 年まで催されるということ伝えて、興味のある人を一緒に参加させれば、常に新しい情報を共有できるのではないか。この問題は意見を出し尽くしたという位、意見を出し合って考え抜いて行かないといけない大変な問題だと思う。傍聴者は意見を述べる事ができないが、事前に委員に意見を伝えておくなどして、多くの意見を今出すべきだ。そして委員だけが知っているという状況を作るのではなく、新しい情報を出すことが大事だと思う。</p>
委員	<p>狭山小学校の PTA では今回の会議内容については PTA 役員に伝えている。保護者全員には伝えられておらず、この計画はまだ浸透していないことは実感している。今後この会議の内容や計画についても伝えるシステムを構築していきたい。</p>
委員	<p>情報公開という意味で聞きたい。狭山小学校と宮寺小学校の PTA は情報の共有を図っていると言う事であるが、市では議事録を公開したりするなどの情報公開をしているのか。</p>
事務局	<p>会議の資料は会議終了後、議事録は会長の署名を得てからホームページで公開している。また、要望があれば傍聴も可能であり、資料を渡すことも可能である。しかし、それ以外の方法は今のところない。</p>
委員	<p>まちづくりの話から、市街化区域の抑制やコンパクトシティといった内容が議事録に記されているが、それは、居住地をまとめようとして国全体が動いているという理解で良いか。仮にそうであれば、中間地点に小学校を</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>建てるというのは、狭山小学校と宮寺小学校の中間地点なのか、それとも、児童が多い地域の中間地点なのか。一言に中間地点というが、場所を決める際には考え方を広く持った方が良いのではないかと思う。今後市街化を抑制して人の住む場所を纏める方向性の中で、小学校の場所を検討するにはどの場所に児童が多く住んでいるのかを考慮すべきではないかと思う。</p> <p>学校の場所を公用地として適切な場所に建てたとしても、学校の周りに家を新しく建てることは難しいという説明を受けたと思う。人口を増やすためには、新しい家を建てられる場所の近くに学校を建てないといけない。学校を建てるのにふさわしい場所は複数あるわけでもなく、そこは一番苦労するところだと思う。学校の移転によって人口を増やすことは難しいというイメージを持っている。宮寺・二本木地区の地域のまちづくりや、生活の利便性向上を謳っているが、元気になるというのは具体的に何を考えているのか教えてほしい。</p>
関係部局	<p>国はコンパクトシティアンドネットワークとして公共交通でつなげることを目標としている。その中で利便性を図れるように平成 30 年 1 月 30 日から「ていーワゴン」を導入した。巡回ルートについては、実際に地域の人と話し合い、買い物や病院の通院の足を確保しつつある。今、実証運行をしているが、宮寺地区の朝の循環コースを廃止して、朝晩は武蔵藤沢駅を経由するルートに変更し、利用者が向上した。毎月 300 人程度、10 月だと 500 人程度増加した。この利用者の中には、通勤通学者がいるのではないかと分析している。この「ていーワゴン」の運行で努力しているが、なかなか苦戦しているところである。</p>
委員	<p>藤沢から続く道路の計画について聞きたい。もし藤沢から道路がつながったとしたらその道路沿いに何か建つことがあるのか。それともその道路は畑の中を通るだけなのか。道路が出来れば、バスが通り、商業施設が出来て、人口が増えるのではないかと期待するが、道沿いは畑のままなのか。現時点で何か計画はあるのか。</p>
関係部局	<p>現時点では、道路沿いにコンビニ程度は建つ可能性があるが、具体的に何</p>

発 言 者	発 言 内 容
関係部局	<p>か建つ計画があるわけではない。</p> <p>市街化調整区域のため都市計画法の開発許可が必要になる。ある程度幅員のある道路ができると沿道サービス系の商業施設が建つ可能性がある。同じく市街化調整区域にある国道 16 号に面した部分についてはある程度のお店ができています。入間市分についても許可基準が条例で定められており、所沢市分についても条例が定められているため、それに則ってある程度のお店ができるのではないかと予想される。</p>
委員	<p>藤宮道路（健康福祉センターの前の道路）が出来て、その際に沿道の雑木林をその後開発すると言う住民説明会が開催され、自動車のオークション会場が建てられた。沿道を開発しても良いというような施策が今後できるのか。</p>
関係部局	<p>市の施策としてではなく、都市計画法の開発許可基準が、ある程度の幅員を持った道路については必要な施設を建てること認められているだけである。許可の基準の中でそのような施設ができる可能性がある。</p>
委員	<p>今行っている所沢市分は商業施設や工場が建つのか。</p>
関係部局	<p>所沢市は産業系の用途を付けると思うため工場等の立地が可能である。</p>
委員	<p>区画整理事業を立ち上げたことによって用途付ができるようになるのか。</p>
関係部局	<p>その通りである。土地区画整理事業を開始して基盤整備を行った上での用途付けになる。</p>
委員	<p>入間市も都市計画マスタープランを定め、将来の都市構造の説明で生活の拠点宮寺支所周辺、文化の拠点を博物館周辺に指定していると思うが、今後小学校を統合し、新しい学校を建設した地域に、学校だけ公共施設があるとなると周辺のまちづくりのイメージができない。多くの制約がある中で、この会議ではどの程度のことまで計画として提示することができるのか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>新しい学校を建てる用地は提示できる段階ではないため、学校の周辺をどのようにできるかを説明することはできない。まちづくりや生活の拠点として示しているので、それに関連付けて学校の用地も検討していく。条件が絞られてくるため、学校の周りを開発する計画を示してそれに対して意見をいうというのは現段階では難しい。</p>
委員	<p>卒業生としての視点からすると、とても思い出深い学校である。PTA もそうだが、地区に住んでいる住民も小学校がなくなるのは非常に悲しい。狭山小学校に統合する、中間地点に新設するなど色々な意見があるが、前に進めなければならない。様々な意見が出るのは当然であるが、広げ過ぎているように思う。この会議は小学校の統合の話だと思う。3年ぐらい前から統合の話があるが、この会議は話が広がってしまい何度会議を行っても統合の問題がまとまらない気がする。もっと小学校統合の問題に絞って話し合った方が良いのではないか。武蔵中学校は、今、中村屋の工場がある場所に狭山中学校があり移転して武蔵中学校になっている。宮寺の子ども達は中学1年生から国道16号を自転車で渡っている。非常に危ないが国道16号で事故が起こったことは一度もない。狭山小学校に統合しても、中間地点でも良いと思うが、それに対して補助を考えなければいけないと思う。近年自然災害が非常に多い。小学校は防災面では、避難場所になると思うが、宮寺小学校を廃校にしたら跡地をどうするのか。国道16号よりも北側の住民は雨の問題は少ないかもしれないが、南側は不老川からの水害が多いため避難場所がないと困る。防災の観点も踏まえて、道路、建物も考えていってほしい。もう一度言うが、個人意見としては、小学校の場所は狭山小学校でも中間地点でも良いが、それに対してきちんと対処をすべきである。</p>
委員	<p>前回の会議で道路のことや学校の周りがどうなるのかという話が出た中で、今回は範囲を広く、まちづくりについて取り扱うことになった。今後用地が決まった際にはもっと細かい話をするようになると思う。</p>
委員	<p>②狭山台土地区画整理事業地内の土地利用の状況 狭山台の辺りは、既にちゃんとした施設として作られているような駐車場</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>になってしまっているところもある。住宅ではなく駐車場として使われているという感覚がある。</p> <p>資料 3-7 に土地利用の状況が記載されているが、面積を見るとあと 40%程度、住宅が増やせそうだと思う。今この地区に 2,000 人の人がいて 40%の面積を使ったとすると、多く見て 1,000 人程度増えるかと思う。仮に 1,000 人増えると、小学生は何人位増えるのか。100 人増える余地があるとしたら、それはこの小学校の統合計画の中で検討しているのか。</p>
事務局	<p>全体としては約 40%空地がある。この図面の上半分に記載されている第二種中高層住居専用地域は 48%空いているが、今後中高層の住宅が建つと見込むのは難しい。活用の方法としては工業団地や駐車場になるだろう。また下半分の第一種低層住居専用地域には約 30%の空地があるが、現実には駐車場に使われている。空地全てが住宅になることは現実的には難しい。人口については増える可能性はあるかと思うが、1,000 人も増えることは考え辛い。今、統合の前提として把握している人口については、第 2 回の会議資料で配布した、人口、児童生徒数の推移の表に基づいている。現在住んでいる人を基にした今後の人口の見込みを示したものであり、新たに移転して来る人もいて、若干名は増加することも考えられるが、現実には今把握している人数よりも大きく増えることは考えにくい。</p>
委員	<p>検討した結果、第 2 回の資料に数字として出したということか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
委員	<p>(3)次回検討事項説明</p> <p>今回は「宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について」と記されている資料に記載されている 1 番のまちづくりを行ったが、提案のあった課題で人口減少対策というのは難しい課題であったと思うが、今後も出てくる可能性はあるのか。</p>
事務局	<p>前回の要望に従って、まちづくりのことが前提条件として共通認識とする必要があると思い説明した。この中には様々な課題が含まれていたと思</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>う。人口減少対策がまちづくりにどのようにかかわるのか、学校に与える影響はどのようなものか。これについては学校の統合を考える中で教育環境の充実を考え、人口減少対策の問題にかかわってくる話があると思う。随時情報として提供し、要望があれば資料提供する。次回は新しい学校のイメージ、教育環境はどう変わるのかに絞って話をしたい。学校の位置の問題もあるが通学上の課題や、一番大切な教育環境がどうなるかについて話したい。ハード面ソフト面両方について、具体的なイメージをもって話合わなければ、安心して統合することはできない。時間をかけて説明し、意見をもらいたい。</p> <p>課題の中でも場所が決まらないと議論しづらい、できることから先にやる。場所がいつまでたっても決まらないと凍結せざるを得なくなる。例えば「宮寺・二本木地区 学校統合地区検討会議について」と記されている資料の分類表の中で、番号が振られているが、一回の会議で終わらせなければならないものではなく、納得するまで議論したら良いと思う。そのような感覚で答えてほしい。</p>
委員	<p>是非、他県、他市で実施した学校の教育に関しての事例や効果を提示していただきたい。大変興味がある。</p>
<p>議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>令和元年 12月 16日</p>	
<p>会 長 の 署 名</p>	<p>近藤 勝美</p>